

スマイルさん



平成30年度 高校生 ボランティアワークキャンプ 報告

第98号 増ページ号

平成 30 年 9 月
発行 月
発行 行
社会福祉法人飯田市社会福祉協議会
〒395-0024 飯田市東栄町3108-1
さんとびあ飯田
TEL : 0265-53-3040
FAX : 0265-53-3186
HP : <http://www.iidashakyo.or.jp/>
e-mail : is@iidashakyo.or.jp
印刷
龍共印刷株式会社

● おもな内容 ●

1 面	スマイルさん
2 面	赤い羽根共同募金
3 面	4～9月の事業報告
4 面	ちょっといいお話
5 面	さつまいものつるのリース
6・7 面	高校生ボランティアワーク キャンプ事業報告
8・9 面	ベルマークの協力依頼・一覧表
10 面	おママで8コマ劇場
11 面	掲示板・おママでクイズ
12 面	おママの部屋

南信濃地域福祉プロジェ クト会議への参加

日本列島各地で猛暑日が続いた今年の夏、飯田下伊那の高校生8名が遠山地区（飯田市上村・南信濃）でボランティア活動を行いました。今回のスマイルさんは、「高校生ボランティアワークキャンプ事業」に参加した高校生たちの様子を紹介します。

当社協では、飯田下伊那の高校生が福祉課題や課題解決に向けた地域の取り組みについて理解し、将来の福祉の担い手の育成につなげることを目的として、7月29日～31日の2泊3日で本事業を実施しました。今回は、急速な高齢化や過疎化の進行が課題となっている遠山地区を訪問し、ボランティア活動や地域の皆さんとの交流を通じた地域学習を行いました。

訪問2日目の7月30日には、南信濃地区の有志の方が集まって地域課題の

解決を検討する「南信濃地域福祉プロジェクト会議」に、高校生も参加させていただきました。南信濃地区では通院や買い物等の移動手段の困っている高齢者の方が増えていることから、今年度は地域住民の移動手段の確保をテーマに話し合いが行われています。高校生たちからは、「住民の協力によるタクシーの運営」「買い物代行コーデイネーターの仕組み」といった発想の提案が出されました。プロジェクトの方からは、「今までにない意見を出してくれた。これからは若い世代と一緒に考えていくことも必要だと思った。」との感想をいただきました。

今後も当社協では、若い世代の皆さんが福祉に興味を持って自発的に行動できるように、このような機会を設けていきたいと思います。



6・7面に今回の現地学習の報告写真を掲載しています。あわせてご覧ください。





じぶんの町をよくするしくみ

赤い羽根共同募金

今年も皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

期 間：平成30年10月1日～12月31日

平成30年度目標額 **14,200,000円**



飯田市配分計画

共同募金は助成計画を事前に定める計画募金です。今年ご協力をお願いする募金で以下の事業を計画しています。

高齢者のために

4,186,840円

高齢者の集い、敬老会、ふれあいサロン、健康づくり事業、敬老の日祝品の贈呈他



子どもたちのために

1,524,270円

私立保育園・児童養護施設への補助、特別支援学級設置校への歳末激励金、福祉教育図書整備事業他（小・中・高校に図書購入補助をしています）

《ありがとうメッセージ》

老朽化で故障が多かったヒーターが新しくなり、今年の冬は暖かな室内で子どもたちが生活できます。ありがとうございました。

（市内保育園）

大勢の生徒が読み親しむことのできる本を7冊購入させていただきました。「赤い羽根共同文庫」を設置し読み継いでいきたいと思います。

（市内中学校）

障がいのある方のために

890,000円

障がい者交流会、障がい者施設への補助他

《ありがとうメッセージ》

児童活動室に設置するコーナーソファとマットを購入させていただきました。ほっと一息つけるスペースとして、初日から子どもたちも喜んでいきます。活動内容に応じて配置を動かすことができるので、とても便利です。皆様からの善意に感謝し、大切にさせていただきます。

（障がい者施設）

住民全般の福祉のために

1,537,890円

地域福祉活動の支援、ボランティア団体支援、ボランティア養成講座、地区広報紙の発行他

※県共同募金繰入 **6,061,000円**（広域的福祉施設・福祉団体へ助成、災害時に備えての積立他）

長野県共同募金配分

安心・安全まちづくり活動支援配分

今年度も、まちづくり委員会等市内13地区の団体が防災関係の備品等を購入しています。



防災テントの購入



4月～9月の事業実施報告



『手話入門講座』

< 6月5日(火)～7月3日(火) 全5回実施 >

今年度は10名の方が受講され、聴覚障がいへの理解を深めていただきました。講師による手話・口話と、スクリーンの映像を見ながらの学習で、分かりやすく楽しく覚えていただくことができました。また、講座の中に参加者同士の手話による会話を多く取り入れ、実践的な形式で学んでいただきました。



『点訳ボランティア入門講座』

< 7月7日(土)～8月11日(土) 全6回開催 >

今年度は7名の方に受講していただきました。点字の基礎や訳し方だけでなく、視覚障がいのある方からのお話やアイマスクをして日常動作を行う体験を通して、視覚障がいへの理解を深めていただきました。また点字器の貸し出しによる自宅学習も取り入れ、点字の奥深さを学んでいただくことができました。



『介護予防サポーターフォローアップ講座』

< 7月18日(水)実施 >

市内各地区で行われている通所型サービスB事業（地域による介護予防教室）の運営に携わる“介護予防サポーター”の皆さんを対象とした講習会を開催しました。講師に、健康運動指導士の赤羽 美恵子 氏を迎え、運動とレクリエーションの講習を行いました。市内7地区から64名の介護予防サポーターの皆さんが参加され、お互いに情報交換するなど、有意義な交流をしていただくことができました。



『要約筆記ボランティア入門講座』

< 9月1日(土)～9月29日(土) 全5回開催 >

要約筆記とは、聴覚障がいのある方のコミュニケーション手段や社会参加の支援として、会話や講演会などの内容を、パソコンや手書き等でその場で書いて伝える通訳の方法です。要約筆記のノウハウを知ること、聴覚障がいのある方に関わる仕事や生活に活かせるようにと、今年度は3名の皆さんが受講してくださいました。



いつまでも元気で長生きすることは、誰しもが願うことです。健康長寿をめざすためには、体を動かして筋力をアップし、バランスの良い食生活を送って、脳を若く保ちましょう。

シリーズ
その48

ちょっといいお話



— 脳を若く保つ食生活のポイント —

脳を若く保つおすすめ食材

- わ** わかめのような海藻を忘れずに
海藻には、カルシウムやマグネシウム・鉄・カリウムなど、豊富なミネラルがバランスよく含まれている。
- か** カルシウム源の牛乳や乳製品をとりましょう
- い** いもなどの根菜、穀物でおなかすっきり
食物繊維は、ブドウ糖・コレステロールの吸収を抑制し、動脈硬化の予防に役立つ。また、かむ回数を増やすことで脳の血流をよくし、満腹感をもたらして食べ過ぎを防いでくれる。
- あ** 青魚でDHAや健脳ビタミンたっぷり
あじやさんま・いわし・さばなどの青魚の脂肪には、EPAやDHAが多く含まれている。高脂血症・高血圧・動脈硬化の予防に効果的。
- な** 菜っ葉の抗酸化ビタミンで細胞いきいき
青葉の他、ブロッコリー・枝豆・グリーンアスパラガスも、同じような栄養が期待できる。
- た** 大豆など豆類のレシチンでボケ防止
レシチンは、大豆の他、えんどう豆やピーナツ・麦芽やオートミール・卵黄やレバーに含まれている。

1日3食を規則正しくとりましょう

- 朝食は脳のエネルギー補給のために**
脳は睡眠中もエネルギーを消費するため、朝目覚めたときは空腹状態になっている。エネルギー源のブドウ糖を補給する主食、体温を上げる主菜のタンパク質、ビタミンやミネラルを含む副菜をとることが大切。
- 昼食は脳のエネルギー不足を防ぐために**
昼食を手軽にすませたい場合は、脳のエネルギー源となる主食に、牛乳や乳製品を添えて、野菜料理の副菜もいっしょにとる。
- 夕食は神経細胞の目減りを防ぐために**
細胞の新陳代謝は睡眠中に活発になるので脳の神経細胞を養う栄養素や成分は夕食でとるのが効果的。

食事づくりは脳と心のトレーニング

- 買い物** 献立を考え、必要な食品を選んで買ってくる。
- 調理** メニューと調理時間を考えて段取り、できるだけ短時間でつくる工夫を。省エネまで考えれば満点。
- 盛りつけ** いつもと違う器を使ったり、盛りつけを工夫して創造力を養おう。おいしい料理と楽しい会話は快感となって脳を活性化してくれる。



私は長崎という街が好きだ。海と高い山。その山の頂上付近にまで住宅が密集するという街並み。そして江戸時代は日本唯一の貿易拠点だったことで、異国の影響を受けている土地である。

私の勤める会社は、比較的盆休みが短い。そのため、今回は地元周辺でお盆を過ごそうと考えていた。それを長崎の友人に伝えたところ、「夏こそ、来た方がよい。特に8月15日は。」と言われた。そこで私はこの夏、長崎を訪れた。

彼が私を夏に来るよう促したのは、毎年8月15日に行われる「精霊流し」を見学するためだった。この行事では、初盆を迎えた故人の家族らが、精霊船と呼ばれる船に故人の霊を乗せて、「流し場」と呼ばれる終着点まで運ぶ。

その日は、爆竹の破裂音、鉦の音、船を曳く方々の掛け声で、長崎の街が包まれる。見学して印象的だったことは、行事に参加している方たちの表情だった。精霊船で送り出す親族は、流し場に到着するまでは意外と明るい表情を見せている人が多い。大きな精霊船を流す場合は、近所の方も曳くのを手伝うそうだが、彼らの顔も明るい。子どもたちは、爆竹の音に驚きながらも楽しんでる。

しかし、流し場に近づくにつれて、彼らの表情はどんどん変わっていく。最後のお別れと言わんばかりに、涙が彼らの頬を伝うのである。

日本人は様々な死生観を持っている。一方で、先祖がそれぞれを時代を地域の方々や協力しながら生き抜いたことで私たちがいるということも確かである。近所付き合い合いが希薄になったといわれる現代ではあるが、今後はどうすれば自分が地域の役に立つことができるか、ということを考えるながら、生活したいと思った。

まめのひとり言
長崎のお盆

※まめのひとり言は、編集委員会へ届いたみなさんの声でつくられています。

作業療法士さん
が考えた

芸術の秋!

さつまいものつるのリース

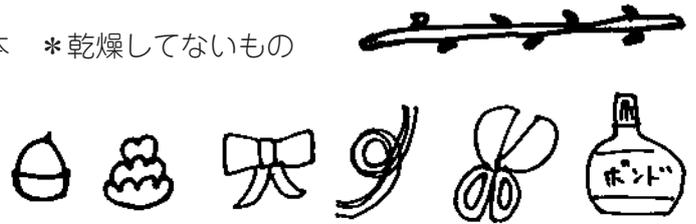
猛暑が過ぎ去り、すっかりと秋めいてきました。少しずつ涼しさを実感しているのではないのでしょうか。秋といえば、読書・スポーツ・食欲・芸術…といろいろありますが、今回は芸術&食欲の秋として「さつまいものつる」を使ったリースやきんぴらの作り方を紹介します。

ここに注目!

- ・さつまいものつるを採りに行きましょう。少し足場が不安定な畑に入って、かがんだりしゃがんだりしながらつるを採ることで、体のバランスを鍛える全身運動になります。
- ・リースの大きさは自由です。小さいもの、大きいもの…飾る場所にあった大きさを考えて作りましょう。
- ・体を動かすことは体力の維持向上に、飾る場所を考えて作ることは脳の活性化につながります。

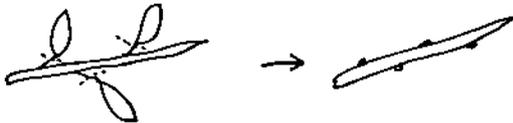
準備品

- ・さつまいものつる（1メートルくらい）を5~6本 *乾燥していないもの
- ・いろいろな木の実（松ぼっくり、どんぐり等）
- ・リボンや水引き（包装で余っているものなど）
- ・はさみ、ボンド



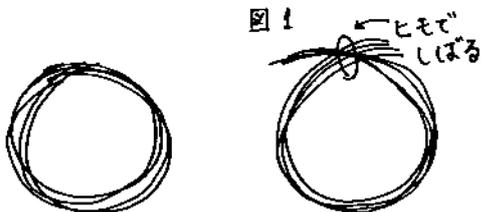
作り方

①さつまいものつるの葉を全て落とす。



②つるをまとめて持ち、ねじりながら丸くする。
③先はつるの間に入れ、止める。

*難しい場合は、図1のようにしても素敵です!



④乾燥させたら、リボンや木の実をボンドで付けて飾る。
*飾りがなくてもシンプルでおしゃれです。



⑤つるすためのヒモを付けて完成!



完成です!

オマケ
さつまいもの
つるのきんぴら



材料：さつまいものつる200グラムほど

酒・みりん・醤油をそれぞれ大さじ2杯（分量はお好みで!）

- ①つるを食べやすい大きさに切る
 - ②柔らかくなるまで茹でてからザルにあげる（硬さはお好みで!）
 - ③鍋に油をしき、②を炒める
 - ④酒、みりん、醤油の順番に入れる
 - ⑤フタをして、弱火でゆっくりと煮る
 - ⑥汁気がなくなってきたら蓋を開け、火を強めて煮汁を飛ばしたら完成!
- *仕上げに七味唐辛子を振っても美味しくいただけます!





高校生ボランティアアワーキャンプ事業報告

実施日:平成30年7月29日~31日 場所:飯田市上村・南信濃地区



7月29日(日)

特別養護老人ホーム遠山荘の山崎所長より、南信濃地区の歴史や現在の状況について紹介していただき、実際に地区内を歩きながら地域の特徴について説明を受けました。また、高齢者共同住宅の皆様・特別養護老人ホーム遠山荘の入所者の皆様と、切り絵や歌・体操を通して交流しました。



7月30日(月)

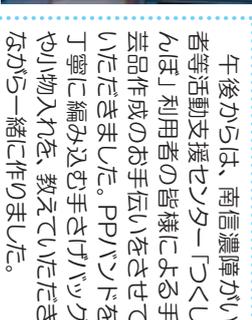
上村地区にお住まいの方お二人のご自宅にお伺いし、ボランティア活動をさせていただきました。ご自宅の窓拭きや庭の草取りをしながら、遠山地区での生活や地元への思いについて、それぞれお話を伺いました。最後に「きれいにしてくれて、本当にありがとう。また来てな。」とお言葉をいただきました。



7月31日(火)

和田保育園に伺い、園児の皆さんのゲーム遊びをお手伝いさせていただきました。8名の園児たちは、「お姉さんたちが保育園に来てくれて嬉しい!」「こんなに大勢でゲームに入るのははじめてだよ〜!」と、キラキラした笑顔を見せてくれました。

高梨園長先生からは、遠山地区の子どもたちの様子や少子化の現状についてのお話しを伺いました。子どもたちは、少ない人数の中で年齢の垣根をこえた関わりを持ちながら日々生活しています。そんな子どもたちを、地域の宝として住民の方々が全員で温かく見守っているのだと感じました。



午後からは、南信濃障がい者等活動支援センター「つくしんぼ」利用者の皆様による手芸品作成のお手伝いをさせていただきました。PP/バントを丁寧に編み込む手さげバツクや小物入れを、教えていただきました。みなから一緒に作りました。

夕方からは、「第43回 南信濃地域福祉プロジェクト会議」に参加させていただきました。(詳細は1面記事をご覧ください。)夜はプロジェクトメンバーの皆様と一緒にバーベキューをしながら、親睦を深めました。地元の猟友会の方からの差し入れ(鹿肉や猪肉を使ったコロッケや鹿肉ロースト)もいただきながら、全員で一日の活動を振り返りました。



～参加した高校生からの感想です!～

遠山には、キレイな自然だけでなく、温かい人の心もあるとても良い土地だと思います。
 私はいろいろな地域問題を探求してみたいと思います。その危機を知らなければなりません。地域が1つ1つ行ったり、地域が1つ1つは一所懸命に活動するのは感じました。
 私自身も地域にある課題を見つめ、自分から地域のために行動したいです。

山上 結奈 さん
 飯田風越高等学校2年



遠山地区では医療体制が整っていない。住民が病気で病院に行くのが大変です。また、高齢者が多いので、介護や福祉の問題も出ています。また、遠山地区には、自然豊かな場所がありますが、観光客が少ないです。観光客を呼び込むための施策を考えた方がいいと思います。

久保田 奈菜桜 さん
 飯田女子高等学校3年



私は、今まで一度も遠山地区へ行ったことがなく、事前学習で高齢化や少子化について危険な場所に住んでいる方が多いことを知り、レポートを行いました。しかし、実際に遠山地区に行くと、想像以上に課題が深刻です。住民の方々の話を聞くと、地区の共同生活が難しいと感じました。遠山地区は、高齢者が多く、若い世代が少なくなっています。

澤柳 佳奈 さん
 飯田女子高等学校3年



少子高齢化は、任んでいる地域によっても進捗具合は違うけど、必ずしも地域も1度ばかりの問題だと今回の通して感じました。だからこそ、個人の問題はついでに考え、話し合おうと思いました。そして、遠山家族、という言葉も、近所との距離感が近か、たり、温かいやわくもりを感じさせる雰囲気が、私自身も、おかげでこの問題に向き合っています。

後藤 愛実 さん
 下伊那農業高等学校2年



私が今回初めて参加したのは、自分たちが住んでいる地域に、興味があり、遠山地区の課題を知りたいからです。遠山地区は、高齢化が進んでいるので、介護や福祉の問題が深刻です。また、遠山地区には、自然豊かな場所がありますが、観光客が少ないです。観光客を呼び込むための施策を考えた方がいいと思います。

松前 ひな さん
 飯田風越高等学校2年



初めて遠山地区に行くと、想像以上に課題が深刻です。住民の方々の話を聞くと、地区の共同生活が難しいと感じました。遠山地区は、高齢者が多く、若い世代が少なくなっています。

熊谷 咲子 さん
 飯田女子高等学校2年



私は今回初めて遠山に行きました。自然の豊かさを、温かい、少子高齢化などの課題を、身をもって感じることもありました。山崎所長のお話や、アロジックの体験を通して、遠山の課題は、決して簡単には解決できないと感じました。

木下 穂乃香 さん
 飯田女子高等学校2年



私は、初めて遠山地区に行きました。明白な話ですが、おかげで、どこに行っても、おかげで、人が多くないから、この地区内の方が、いい感じ。遠山地区は、良いところがあることが、わかりました。

坂田 侑里香 さん
 下伊那農業高等学校2年



ベルマーク収集による支援活動へご協力ください

飯田市ボランティアセンターでは、今年度も引き続きベルマーク収集を行っています。

左記のページの「ベルマーク一覧表」を点線で切り取り、ご家庭内の目に付くところに貼るなどしてご活用ください。注：2018年度版の一覧です。年度ごとに参加企業が変更になる場合があります。

ベルマークの切り方

丸いマークは四角に切る

小さなマークは大きめに



切りそこなっても、半分以上残っていれば有効です。



ベルマーク整理のためのボランティアさん大募集!!

ベルマーク整理のための会「まめボラの会」では、第4金曜日の午後と第4土曜日の午前中にベルマークの仕分け作業などを行っています。昨年同様、年度末に向けてベルマークを被災地に送付できるよう準備を進めており、ご協力いただける方を随時募集しています。年内は下記の日程で活動しておりますので、ご協力いただける方はぜひご参加ください。

【日 時】 毎月第4金曜日 午後1時30分～4時30分

第4土曜日 午前9時00分～12時00分

10月26日(金)・27日(土)／11月16日(金)

12月21日(金)・22日(土)

※11月の土曜日はお休みです。

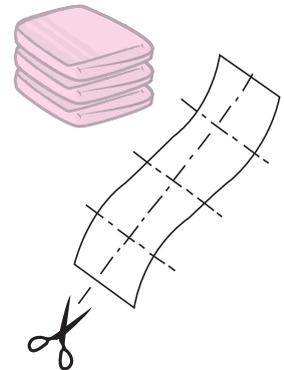
【場 所】 さんとぴあ飯田2階 ボランティアルーム

ご自宅でボランティアをしてみませんか？

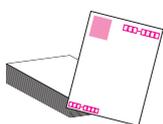
切り布(清拭用)を集めています!

使わなくなったタオル、バスタオル、シーツ、綿のTシャツ等を、市内の福祉施設で清拭用として再利用しています。洗濯した清潔な物を、15センチ×20センチくらい(フェイスタオル8等分サイズ)の大きさに切って、社協へお届けください。

切れていなくても、ボランティアの皆さんが切ってくださいるので、そのままお持ちいただいて構いません。また、布切り専門のボランティアさんも募集しています!詳しくは飯田市ボランティアセンター(TEL0265-53-3182)までご連絡ください。



書き損じはがき



使用しなかった年賀はがきや書き損じたはがきが家に眠っていませんか?集めたはがきは、収集活動団体が郵便局で手数料を差引き、新品のはがきや切手と取り換え協力者に引き取ってもらい、代金を福祉やボランティア活動に役立てます。

保存版



ベルマーク一覧表

2018年度版



あなたもボランティア 国内外の友だちとつなぐ愛の手

<p>ベルマーク番号01</p>	<p>ベルマーク番号03</p>	<p>ベルマーク番号04</p>	<p>ベルマーク番号05</p>	<p>ベルマーク番号06</p>	<p>ベルマーク番号07</p>	<p>ベルマーク番号08</p>	<p>ベルマーク番号09</p>
<p>ベルマーク番号10</p>	<p>ベルマーク番号15</p>	<p>ベルマーク番号16</p>	<p>ベルマーク番号17</p>	<p>ベルマーク番号18</p>	<p>ベルマーク番号19</p>	<p>ベルマーク番号20</p>	<p>ベルマーク番号21</p>
<p>ベルマーク番号23</p>	<p>ベルマーク番号24</p>	<p>ベルマーク番号25</p>	<p>ベルマーク番号26</p>	<p>ベルマーク番号28</p>	<p>ベルマーク番号29</p>	<p>ベルマーク番号30</p>	<p>ベルマーク番号31</p>
<p>ベルマーク番号33</p>	<p>ベルマーク番号35</p>	<p>ベルマーク番号36</p>	<p>ベルマーク番号37</p>	<p>ベルマーク番号39</p>	<p>ベルマーク番号43</p>	<p>ベルマーク番号48</p>	<p>ベルマーク番号51</p>
<p>ベルマーク番号52</p>	<p>ベルマーク番号53</p>	<p>ベルマーク番号54</p>	<p>ベルマーク番号55</p>	<p>ベルマーク番号56</p>	<p>ベルマーク番号57</p>	<p>ベルマーク番号60</p>	<p>ベルマーク番号64</p>
<p>ベルマーク番号65</p>	<p>ベルマーク番号66</p>	<p>ベルマーク番号70</p>	<p>ベルマーク番号73</p>	<p>ベルマーク番号76</p>	<p>ベルマーク番号77</p>	<p>ベルマーク番号78</p>	<p>ベルマーク番号83</p>
<p>ベルマーク番号84</p>	<p>ベルマーク番号88</p>	<p>ベルマーク番号89</p>	<p>ベルマーク番号91</p>	<p>ベルマーク番号92</p>	<p>ベルマーク番号93</p>	<p>ベルマーク番号95</p>	

※この一覧表に載っているベルマークは見本です。
 ※2018年度からベルマーク番号04番と46番の日本水産は統合しました。04番と46番のベルマークは全て04番で集計してください。

公益財団法人ベルマーク教育助成財団

〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18夕留イーストサイドビル7階 TEL03-5148-7255 ホームページhttp://www.bellmark.or.jp



社協職員
による

おマメで8コマ劇場



マメ子

作：林 篤史 (地域福祉課)

マメ太郎

第27話 点訳ボランティア入門講座



ボランティア役：柴原 作 職員役：渡邊 伸司



読者のコーナー

皆様からお寄せいただきましたハガキ・メールの中から、97号の感想を一部抜粋してご紹介します！

飯田市社協の事業報告をみると、本当に多くの取り組みがあるんですね。とても参考になりました。

松尾 50代女性

出歩く機会が少なくなった昨今、「社協情報おマメで」を隅から隅まで目を通して見ます。情報収獲ができるので、次の98号をたのしみしている愛用者です。

上久堅 70代女性

今回の「ちょっといいお話」は、夏バテを防ぐ生活習慣のことが細かく書かれているので、今年は参考にして(壁に張って置いて)元気で猛暑を乗り切ろうと思います。

上郷 70代女性

掲 示 板

マメ太郎



マメ子



親御様向け婚活支援特別講演会

～わが子に結婚してもらうために～

なかなか結婚しないわが子に、どう結婚を勧めたらよいか…
そんな悩みにお答えする婚活プロの講演会です。

- 日 時 平成30年10月20日(土)
13:30～16:00
- 会 場 飯田勤労者福祉センター3階
第3・4研修室
- 対 象 独身の子を持つ親御様
- 定員/会費 100名/無料
- 締 切 平成30年10月12日(金)
- 申込み・お問い合わせ

— 講師 —



(株)IBP総合研究所
代表取締役所長
結婚・恋愛心理カウンセラー
本城 稔 氏

飯田市社会福祉協議会
結婚相談所事務局
☎0265-53-3182



第4回 障がい者 文化芸術作品展 開催のお知らせ

飯田市社協では、芸術活動に取り組まれている障がいのある方の作品を展示し、その鑑賞を通して、障がい者の文化芸術活動への理解を深め、社会参加の促進を図ることを目的とした作品展を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

【開催期間】

平成30年11月6日(火)～
11日(日)

【会 場】

飯田美術博物館 1階
市民ギャラリー



ちょっと
一息

「おマメで」クイズ??

社協報「おマメで」98号の中からクイズです。答えと右記の要項を添えてぜひご応募ください。
クイズに正解された方の中から抽選で5名に図書カードをお贈りします。

- 1 今回、高校生ボランティアワークキャンプ事業で
高校生が活動した飯田市内の2地区は？
(ヒント：遠山郷の2地区)
- 2 当社協にて、ベルマークの仕訳・整理を行ってくださる
ボランティアの会の名称は？

応募要項(ハガキで応募される場合)

62	〒395-0024	①クイズの答え
	飯田市社協 「おマメで」編集委員会行	②住所
	飯田市東栄町三〇八一	③氏名 ④年齢
		⑤電話番号
		⑥「おマメで」の感想

ご応募締め切り 10月末

98号の誌面にてクイズの答え・当選者の発表を行います。

※ご応募の際にいただいた個人情報はプレゼント発送以外には使用いたしません。

※匿名表現でご感想を次回号に掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

97号のクイズの答え

- 1.「ふれあいサロン」 2.「おマメで健康教室」

当選された方

- ・熊谷 久子 様(松尾)・遠藤 美智子 様(伊賀良)・小池 夏子 様(上郷)
・井上 登し子 様(橋南)・遠山 玉利 様(南信濃)

メールでの応募方法は2通り!!

- ① omamede@iidashakyo.or.jp
にメール送信!
- ② HPから「お知らせ」欄→
「社協情報おマメで第98号」をクリック!
おマメでクイズに参加できるよ!
待ってまーす!

おマメで体操
イメージキャラクター



マメ太郎



マメ子

多くのご応募ありがとうございました!



各情報の申し込み・お問い合わせは…

飯田市ボランティアセンター

(さんとびあ飯田 飯田市社協内)

電話 0265-53-3182

FAX 0265-53-3183

HP <http://www.iidashakyo.or.jp>

災害救援ボランティア養成講座 参加者募集【無料】

■目的：飯田市内にて大規模災害が発生した際、災害救援に関する専門的な知識をもって、救援活動に参加できるボランティアの養成を行うことを目的として開催します。

■日時：①平成30年11月24日(土) 9時00分～12時00分

②平成30年12月1日(土) 9時00分～18時00分

③平成30年12月8日(土) 9時00分～16時00分

■場所：①飯田勤労者福祉センター第1・2視聴覚室

②・③さんとびあ飯田第1・2講習室

■定員：30名



ボラセンではこんな事業を行っています!!

飯田市ボランティアセンターでは、世代や障がいを超えていろいろな人たちがお互いに関わりを持てるよう、各種事業を行っています。ここでは、今年度のこれまでの取り組みをご報告させていただきます!

いずみの家パン<6/16・7/1実施>

障がいに対する理解を深めることを目的に、社会福祉法人希望の虹「いずみの家」の皆さんに講師をお願いして、パン教室を開催しました。

「中・高生教室」には6名の中学生・高校生が、「親子教室」には3組7名の小学生と保護者の方が参加されました。参加者の方からは、「初めてパンを作りましたが、皆さんに丁寧に教えてもらったので、上手にできました!」といった感想をいただきました。今後も計画していく予定です!



フラダンス教室<6/8・6/24実施>

障がいのある方の趣味教室の1つとして、今回は5名の皆さんが参加されました。講師の方が一人ひとりに声をかけながらゆったりとフラダンスを踊ることができました。ハワイアンな音楽に合わせ、しっかりと体を動かすことができ、良い雰囲気です。来年度の2月にも教室を開催する予定です。またのご参加をお待ちしています!



サマーチャレンジボランティア<7/28(土)~8/12(日)実施>

中・高校生に福祉への理解や関心を高めていただくことを目的として、夏休み期間を利用して実施している事業です。今年度は、市内11校の中・高校生のべ831名が、飯田市内の様々な福祉関係施設でボランティア活動を行いました。児童施設の参加者からは、「小さい子と関わりたいと思って参加しました。ボランティアをとおして保育士をめざしたい気持ちが強まりました」との前向きな感想が聞かれました。児童施設の職員の方からは「生徒さんたちは、それぞれ将来の目標に向かって今後も頑張ってもらいたいです。」との感想をいただきました。今回ご協力いただいた福祉関係施設の皆様に感謝申し上げます。

